

自動車市場向け：EVモータ、車載用ダイナモ モータージェネレータ、インバータ ベンチトップ試験のご提案

EVモータ、車載用ダイナモ、インバータなど性能評価試験に対応

モータベンチ試験は、車載用の駆動部品（エンジン、モータ、発電機）の性能を評価する試験です。試験対象の部品を作業台に据付け、負荷モータを使用して駆動・出力回収を行い、トルク、回転数、耐久性などを計測します。

そこで今回は、据付けの重量物試料やテストベンチの様な固定試料部に温調が可能な温(湿)度供給装置：ASEシリーズをご紹介します。

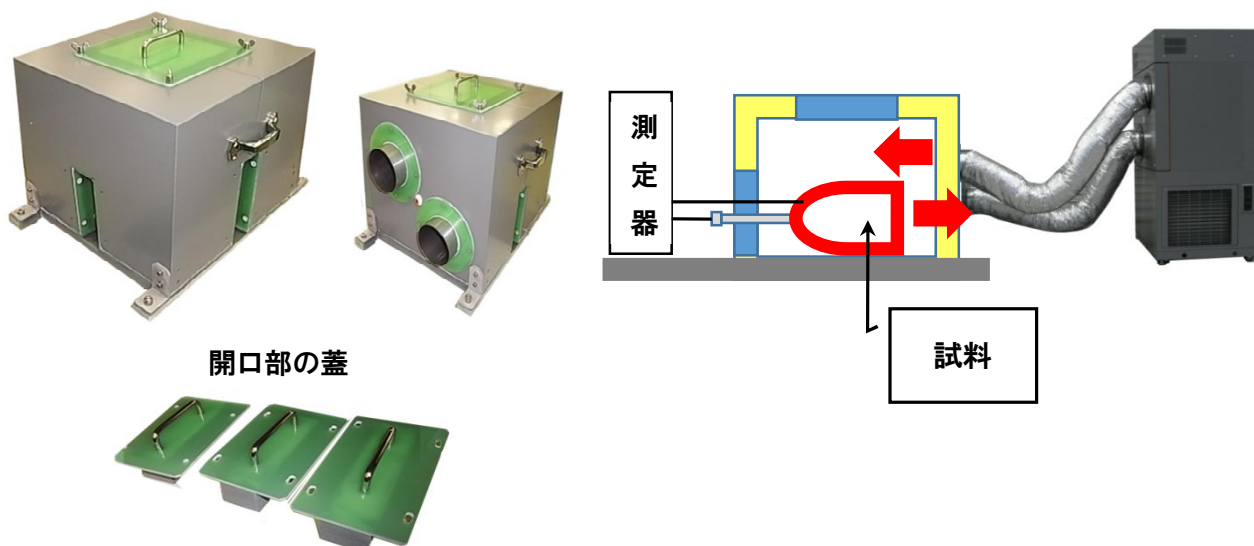
特徴

● 試料を囲える試験ボックスを用意します

- ・EVモータや車載用ダイナモは定盤に設置されているので、試料全体を試験ボックスで上から被せる構造で用意します。
- ・モータを駆動させるシャフト用の貫通孔をご用意いたします。

● 既存設備に後付けでご提案が可能です

- ・温度供給は無しでモータベンチ試験を行ってられるお客様にも現地の状況に合わせて柔軟に試験設備をご提案することが可能です。
- ・常温下での試験から環境試験を実施できる状況に変更が可能です。



試験事例

試験名	試験条件	試験目的
EV モータの耐久試験	-40℃～+150℃	・EV モータの定常及び加減速の耐久試験
低温・高温 台上耐久試験	-40℃～+100℃ +20℃→+100℃(1h 以内) +20℃→-40℃ (2h 以内)	・試験車両設置前にシステム状態で環境温度変化をさせながら耐久試験を実施

ASE_温湿度供給装置 ラインナップ一覧

型式	ASE-202	ASE-502	ASE-702	ASE-802
温度範囲	-30℃～+100℃	-40℃～+100℃	-30℃～+150℃	-40℃～+150℃
温度上昇 時間	+20℃～+100℃ 30分以内	+20℃～+100℃ 30分以内	+20℃～+150℃ 50分以内	+20℃～+150℃ 50分以内
温度下降 時間	+20℃～-30℃ 70分以内	+20℃～-40℃ 70分以内	+20℃～-30℃ 60分以内	+20℃～-40℃ 60分以内
処理風量	8m ³ /分	8m ³ /分	8m ³ /分	8m ³ /分
外形寸法 WHD(mm)	850×1625×850	1070×1790×900	1470×1965×1400	1470×1965×1400
最大消費 電力	5.7Kva	7.7KVA	12.0KVA	16.0KVA



* 仕様の詳細につきましては、カタログ情報をご確認ください。

* ご不明点は営業担当者までお問い合わせください。

エスパックサーマルテックシステム株式会社

本社 住所：埼玉県戸田市美女木東 1-2-15

TEL：048-423-1800 FAX：048-423-1801

神戸事業所 住所：兵庫県神戸市東灘区御影石町 1-6-6

TEL：078-856-5181 FAX：078-856-5186

- 各営業所へお問い合わせください。
- 本リーフレットに掲載のサンプルはイメージです。
- 製品の改良・改善のため、仕様および外観、
その他を予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。